

報告 1

令和2年度 事業計画

(令和 2年 4月 1日～令和 3年 3月31日)

令和元年度に引き続き、ダム工学研究の向上発展を図ることを目的とし、以下の事業を実施する。

1. 委員会等活動

- 1) 通常総会
 - 2) 理事会
 - 3) 評議委員会
 - 4) 委員会
 - ・企画運営委員会
 - ・編集委員会
 - ・調査研究委員会
 - ・災害調査委員会
 - ・表彰委員会
 - ・選考委員会
 - ・優秀発表賞選考委員会
- の各委員会を開催する。

2. 行事活動

- | | |
|--------------|----|
| 1) 学術講演会 | 1回 |
| 2) 研究発表会 | 1回 |
| 3) 現地見学会 | 1回 |
| 4) 講習会 | 1回 |
| 5) ダム工学会賞 表彰 | 1回 |
| 6) 活性化関連活動 | |
- ・地域活動
・若手の会
・ダムなんでも相談室
・“with Dam★Night” 北海道、東京、東北、中部・近畿、中国・四国、九州で開催。
- 2) 、 4) 合同開催して、
30周年記念講演の実施。

3. 出版・広報活動

1) 学会誌「ダム工学」

VOL. 30 No.2 2020年 9月 発行予定 (2020年 9月15日号)

VOL. 31 No.1 2021年 3月 発行予定 (2021年 3月15日号)

30周年記念事業について掲載。

2) ダム工学会ホームページの運用、メルマガ通信の配信

3) 戰略的・効果的な広報の実施

ダム工学会ホームページを活用し、一般の方にダムに関する見学会等（30周年記念事業など）のイベント情報をはじめ、ダムの役割などの知識の提供を行う。また、活性化関連活動を通じてダムに関する戦略的・効果的な広報を実施する。

4. 研究活動

1)～7)の研究部会の活動と共に、交流研究事業に取り組む。

4. 1 研究部会 令和2年度活動内容

1) コンクリートダム研究部会

前年度からの研究テーマ「ダム管理期間としての第IV期設定」に関する報文（技術コラム形式）を作成し、「ダム工学」へ投稿する。また、次年度以降の研究テーマを検討・選定する。

2) フィルダム研究部会

ダム型式（アースフィル、ゾーン型ロックフィル、表面遮水型）、新規建設・再開発（嵩上げ、耐震補強）、適用した設計基準、施工方法等を考慮し、ダム高から代表ダムを選定して、「我が国のフィルダムの技術的変遷」について検討する。

3) 地質・基礎研究部会

前年度に引き続き、「ダム（堤体、貯水池周辺斜面）の維持管理・再開発における地質調査に関する研究」について討議し、報文としてとりまとめる。あわせて、新規テーマの検討を進める。

4) 維持管理研究部会

『ダム堆砂の有効活用に関する事例研究（仮称）』について、検討を行い、研究成果をとりまとめ、「ダム工学」に発表する部会報告用の原稿を作成する。湖外搬出、有効利用、河川還元などについて最新の知見を収集、整理（「オープン型マネジメント」）する方針とする。

5) 施工研究部会

新たな研究テーマ「ダムコンクリート強度試験の合理化」について詳細な討議を行う。

6) ダム技術史研究部会

前年度に引き続き、ダム技術史(仮称)の発刊に向け、出版社の選定・抽出作業を行い、構成や内容について精査する。

7) ダム貯水池課題研究部会

前年度の議論を踏まえ、当研究部会の報告書として、ダム再生の推進に向けた提案（ダム再生の計画・設計・施工・管理・運用等に係わる様々な課題に対する提言）のとりまとめを進める。

4. 2 交流研究事業

「ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究」、「コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊試験に関する研究」、「ダム下流への土砂供給によって形成される河床地形の物理－生態環境評価手法に関する研究」の3テーマを継続する。

1) ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究

前年度に引き続き、解析モデル数を増やして解析を行い、温度ひび割れ発生確率曲線の作成を行っていく。

2) コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊試験に関する研究

非破壊試験方法のうち、衝撃弹性波法および赤外線サーモグラフィ法を用いてコンクリートのひび割れ、水平打継部の一体性評価方法を検討する。

3) ダム下流への土砂供給によって形成される河床地形の物理－生態環境評価手法に関する研究

ダム下流河川における土砂水理学的プロセスを経て形成される早瀬・淵・ワンド等の生息場構造を河川管理指標として、生物多様性と砂州フィルタリングによる水質浄化機能を保全する新たな河川管理概念について応用生態工学会と連携しながら検討する。

令和2年度 収支予算

(令和2年 4月 1日～令和3年 3月31日)

報告2

(単位：円)

収入の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
1. 会費収入 (①～④計)	10,790,000	10,950,000	△ 160,000	
①正会員会費	3,600,000	3,600,000	0	H29-H30度決算額考慮
②学生会員会費	0	0	0	
③シニア会員会費	190,000	250,000	△ 60,000	H29-H30度決算額考慮
④賛助会員会費	7,000,000	7,100,000	△ 100,000	H29-H30度決算額考慮
2. 事業収入 ((①～⑦計)	2,425,000	2,300,000	125,000	
①総務小委員会収入	370,000	370,000	0	第30回通常総会 会費
②研究発表会収入	200,000	200,000	0	学術研究発表会参加費 第46回現地見学会参加費 (大ダム会議と合同開催)
③現地見学会収入	1,215,000	1,215,000	0	大ダム会議負担金除く
④講習会収入	0	0	0	講習会小委員会
⑤表彰関係収入	0	30,000	△ 30,000	公開審査会未実施
⑥活性化推進収入	640,000	485,000	155,000	活性化推進小委員会
若手の会	150,000	150,000	0	若手技術者勉強会参加費
ダムなんでも相談室	0	0	0	CMED会・河川整備基金補助金除く
北海道ブロック	170,000	20,000	150,000	with Dam Night会費
東北ブロック	20,000	15,000	5,000	ダム見学会(支部)参加費
中部近畿ブロック	150,000	150,000	0	with Dam Night会費
中国四国ブロック	0	0	0	
九州ブロック	150,000	150,000	0	with Dam Night会費 ダム見学会(支部)参加費 九州地方計画協会補助金除く
With Dam Night 2020	0	0	0	
⑦調査研究収入	0	0	0	調査研究委員会
コンクリートダム研究部会	0	0	0	
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	0	0	0	
維持管理研究部会	0	0	0	
施工研究部会	0	0	0	
ダム技術史研究部会	0	0	0	
ダム貯水池課題研究部会	0	0	0	
交流研究事業	0	0	0	
3. 刊行収入等 (①～④計)	1,001,000	1,715,000	△ 714,000	
①会誌一般頒布収入	296,000	360,000	△ 64,000	講読会員会費 (2回¥6,000)
②会誌広告料	600,000	1,250,000	△ 650,000	会誌広告料 (発行回数2回)
③抜刷別刷収入	75,000	75,000	0	会誌の抜刷・カラー印刷
④その他収入	30,000	30,000	0	JST特許料・学術著作権複写 フィルダムの変位計測に関する GPS利用マニュアル、ダムの科学 【新・旧】
4. 図書出版事業収入	30,000	30,000	0	
5. 雜収入 (①～②計)	1,571,000	1,671,000	△ 100,000	
①補助金収入	1,570,000	1,670,000	△ 100,000	大ダム会議負担金(¥50,000) CMED会(¥200,000) 河川整備基金 (¥520,000) 九州地方計画協会(¥800,000)
②受取利息	1,000	1,000	0	銀行利息
小計 (1～5計)	15,817,000	16,666,000	△ 849,000	
6. 前年度繰越金	16,425,960	16,425,960	0	
合計 (小計+6)	32,242,960	33,091,960	△ 849,000	

(単位：円)

支出の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
1. 事業支出 (①～⑦計)	10,882,000	10,745,000	137,000	
①研究発表会支出	955,000	900,000	55,000	学術研究発表会小委員会
②現地見学会支出	1,455,000	1,400,000	55,000	現地見学小委員会 (ダム会議と合同開催)
③講習会支出	450,000	250,000	200,000	30周年記念特別講演会 講習会小委員会
④表彰関係支出	1,210,000	1,340,000	△ 130,000	表彰・選考委員会 公開審査会未実施
⑤広報支出	120,000	90,000	30,000	広報小委員会(HP管理費) HP作成ソフト更新料
⑥活性化推進支出	5,870,000	5,660,000	210,000	活性化推進小委員会
若手の会	1,450,000	1,500,000	△ 50,000	若手技術者勉強会
ダムなんでも相談室	920,000	920,000	0	ダムなんでも相談室 経費
北海道ブロック	700,000	480,000	220,000	with Dam Night・ ダム見学会(支部) 経費
東北ブロック	450,000	450,000	0	with Dam Night・ ダム見学会(支部) 経費
中部近畿ブロック	520,000	490,000	30,000	with Dam Night 経費
中国四国ブロック	300,000	300,000	0	with Dam Night 経費
九州ブロック	1,280,000	1,270,000	10,000	with Dam Night・ ダム見学会(支部) 経費
With Dam Night 2020	250,000	250,000	0	with Dam Night 経費
⑦調査研究支出	822,000	1,105,000	△ 283,000	調査研究委員会
コンクリートダム研究部会	31,000	200,000	△ 169,000	部会 経費
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	30,000	80,000	△ 50,000	現地調査等 経費
維持管理研究部会	60,000	65,000	△ 5,000	現地調査等 経費
施工研究部会	0	50,000	△ 50,000	
ダム技術史研究部会	1,000	10,000	△ 9,000	残高証明発行手数料
ダム貯水池課題研究部会	100,000	100,000	0	部会 経費
交流研究事業	600,000	600,000	0	交流研究補助金3テーマ分
2. 刊行支出	2,900,000	4,300,000	△ 1,400,000	
①会誌作成費	2,900,000	4,300,000	△ 1,400,000	発送料・抜刷別刷料含む (会誌発行回数2回)
3. 図書出版事業支出	0	0	0	
4. 事務支出 (①～⑪計)	2,000,000	2,000,000	0	
①会場費	420,000	400,000	20,000	第30回総会 経費等
②会議費	680,000	680,000	0	第30回総会 経費等
③印刷製本費	210,000	210,000	0	第30回総会 経費等・ パンフレット作成費
④諸謝金	135,000	200,000	△ 65,000	ダム工学 卷頭言・查読料
⑤消耗品費	0	0	0	
⑥通信費	100,000	100,000	0	会費請求書 送付等
⑦支払手数料	60,000	60,000	0	WEBバンク・口座振替手数料
⑧旅費交通費	0	0	0	
⑨コンサルタント料	200,000	170,000	30,000	会計顧問報酬 登記役員変更手続き代行料
⑩雑費	150,000	150,000	0	ダム日本購読料、日本工学会会費 防災学术連携体会費
⑪源泉徴収費	45,000	30,000	15,000	諸謝金に対する源泉徴収
5. 予備費支出	100,000	100,000	0	
小計 (1～5計)	15,882,000	17,145,000	△ 1,263,000	
6. 繰越金	18,316,679	15,946,960	2,369,719	
合計 (小計+6)	34,198,679	33,091,960	1,106,719	

注1 R2 の予算收支 15,817,000 - 15,882,000 = - 65,000
 注2 R1 の予算收支 16,666,000 - 17,145,000 = - 479,000